# 令和８年度　第６回　豊田市石野地域会議　会議録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催日時 | 令和８年１０月２８日（水） | 開会 | 閉会 |
| | | 午後７時００分 | 午後８時１０分 |
| 会　　場 | 石野交流館　大会議室 | | |
| 出 席 者 | 地域会議委員：１２人　令和７年度地域会議委員：２人 | | |
| | 会長：梅村 清春　　副会長：大岩 芳伸 | | |
| | 委員：生田 源彦　　河原 信昭　　清水 重春　　清水　剛<br>竹田 祐司　　手嶋 直人　　中川 広恵　　中根　学<br>丹羽 明仁　　藤村 輝夫<br>令和７年度委員：溝上 喜美男　　成瀬　嘉則 | | |
| 欠 席 者 | 清水 克彦　　松井 美佑 | | |
| 傍 聴 者 | 鈴本 昌秋（豊田市議会議員）<br>下山支所：松井担当長、加藤主査 | | |
| 豊 田 市<br>出 席 者 | 豊田市：太田市長、地域活躍部：青木部長 | | |
| 事 務 局 | 猿投支所：小澤支所長、前田主査、宮石担当長 | | |
| 内　　容 | １　豊田市民の誓い<br>２　会長・市議あいさつ<br>３　提言について<br>・提言書の授受<br>・市長あいさつ<br>・市長との意見交換<br>４　その他 | | |

**■議事（要約）**

**２　あいさつ**

**会長：**石野地区の各自治区は小規模だが、それぞれに多種多様な課題を抱えており、住民の助け合いが重要である。有事の際には「自助」「共助」「公助」があることに加え、「近助（隣近所、近くの方々の助け合い）」があり、特に「近助」は石野地区における課題を言い表していると考える。

**鈴本市議：**高齢化に伴い、遊休農地が多くなっている。これらをはじめ、地域課題と捉え、令和７年度、そして令和８年度と地域会議で地域課題の解決を考えてきた。誰もが安心して暮らしていける街づくりを今後進めていきたい。

**３　提言について**

〇提言書の授受

・提言「安心して暮らしていける支えあいのまち・石野」の提言書を会長から市長

へ提出。
・会長より内容説明
石野地域の課題として、高齢化が挙げられ、豊田市全体の平均よりも高齢化率が高いため、高齢者の日常生活をどのように支えていくかが喫緊の課題となっている。具体的には、車の運転が難しくなった人の買い物や病院に出かけることや農業の担い手不足による遊休農地の増加が挙げられる。
その地域課題の解決策として、行政の制度に加え、地域で住民同士がつながり、互いに支え合える仕組みが必要だと考え、「石野お助け隊」の結成し、活動する。ただ、困りごとを解決するのではなく、困ったときに気軽に相談できる人がいること、誰かが困っていたらできる範囲で手を差し伸べられること、そして日ごろから顔の見える関係を築き、誰もが地域の一員として安心して暮らせることを目指す。
取組内容として、石野お助け隊検討部会を立ち上げ、高齢者の困りごとの調査の実施と活動内容の検討、メンバーの募集をしたのち、石野お助け隊の活動を開始する。

〇市長あいさつ
地域課題について、地域会議で議論し、その解決に向けた石野地区の取組がよく分かった。一般論の全体的な傾向として、独身でお金が自由に使えることや結婚したときの幸福度は高く、続いて、中間管理職になるような年齢では幸福度が下がり、６０歳近くなると再び高くなり、８０代だとかなり高い。これらの数値を見ると、高齢化社会も悪くない。
国が実施した孤立孤独対策の調査では、孤独だと感じる人が３３%、困ったときに誰にも頼ることができないと感じる人が３．８%となっている。豊田市にもそう感じる方がいて、よりそい支援課や社会福祉協議会といった窓口があるが、窓口で相談できない人もいる。孤立孤独対策では複雑な事情が絡み、難しいことが多いが、今回の石野地区の取組はそういった困りごとの解決になると考えている。

〇市長との意見交換
**委員**：豊田市開発許可基準第１８号により、石野地区では人口が増えた自治区があるなかで、改正について、市長の想いがあれば、教えていただきたい。
⇒**市長**：開発により家が増えると、道路整備の話があり、生活道路を考える必要がある。そのため、計画的に進める必要があり、極端な開発ではなく、長期的に考えるべきと考えている。
**委員**：今回の石野地区の提言の参考に滋賀県米原市の大野木長寿村まちづくり会の話を聞いた。そこでは、行政に頼ると、ルールが厳しく、やりたいことができないため、行政の補助金や制度を使わないと聞き、驚いた。行政はそのルールを少し緩めることはできないか。若い世代に話を聞く中でもう１点、岡崎市にはアウトレットができ、長久手市にはイオンモールがある。豊田市に大型ショッピングモールが

ないが、若い世代は出かける場所がないという意見を聞く中で、豊田市にも誘致すべきだと考えるが、市長の考えを聞きたい。

⇒**市長**：行政が実施することであれば、ルールは必要であると考える。また、大型ショッピングモールの話はよくでるが、他市では大型ショッピングモールを誘致したことにより、中心地の商店街が閉店している。豊田市では、そうではいけないと考えている。子どもたちの楽しみを考えると、例えば、石野地区の植物は何があるのか、何種類あるのかのような自然環境をはじめ、子ともたちに何を伝えるのかが地域にとってよいかを考えている。

**委員**：今は若い世代が増えてきたものの地域活動は定年の再延長が終わった６０代、７０代の人が参加している。そういった地域活動も高齢化が進む中、高齢者の送迎バスの自動運転を導入できないか。

⇒**市長**：山村地域での自動運転の実証実験として、小原地区で実施しているため、今後の実証実験の結果を確認していく。

## ４　その他

**【事務連絡】**

・地域会議だより案を作成した。この地域会議での意見のとおり、サマーフェスタいしのでのアンケート結果を記載したい。意見のある委員は１１月６日（金）までに事務局へ連絡
・クマの情報と対策について説明
・小学校、中学校でインフルエンザが流行しているため、注意喚起
・次回の予定：市長への提言・意見交換
　日　時：令和８年１１月２４日（火）午後７時から
　場　所：石野交流館　大会議室